



中国で耕作地を林地に整備する「退耕還林」政策が環境対策から気候変動対策に移行しつつある重要な節目を迎えた。それが、中国の「退耕還林」事業による重要な節目を迎えた。それが、中国の「退耕還林」事業による重要な節目を迎えた。



中国の「退耕還林」政策

地球環境戦略研究機関主任研究員 金振氏

中国の「退耕還林」事業の環境経済価値(2019年)

	生態系サービス能力	環境経済価値(兆円/年)	備考
森林保水量 (水利対策)	440億 m³/年	9.2	全国生活用水の使 用量の50.5%相当
炭素吸收 (気候変動対策)	5570万 t/年	4.4	全国森林吸収量 の12.8%、全国CO ₂ 排出量の2% 相当
粉じん付着・ 固定による 大気浄化 (大気汚染対策)	5.4億 t/年	6.2	全国粉じん(工業 粉じん、自動車は 排気ガスなど)排 出量の42倍
生物多様性、 土壤保養、森 林保護など	—	8.4	—
合計		28.2	

中国の人口は2021年、14億1260万人と過去最高を更新し、1960年の2倍

に増えた。それに伴い、食料需要に向けた大規模な森林伐採や開墾が進んだ。結果、深刻な土壌流失が発生。90年代に実施した第1回全国土地資源調査による

当たる3億6700万haの土壌が流失した。事態は、98年の特大洪水を契機に変わり始めた。政府は翌年、傾斜度が高い耕作地や生

地として整備する「退耕還林還草(耕作地を森と草原に戻す)」政

林地拡大も環境劣化

万戸の農家を対象に、総額5700億元(約11兆円)の支援金を出し、「退耕還林」事

業を進めた。2019年までの20年間に3194万haの耕作地を林地に変えた。

同事業によって提供される生態系サービスの経済価値は、年間1兆4200億元(約28兆円)に相当する。例え

ば、同事業で整備された森林の年間保水量は、生活用水使用量の半分に当たる440億立方㍍と推計される。

事業による二酸化炭素(CO₂)の年間吸収量は、5570万tで、全国森林吸収量の12.8%相当である。しかし、森林蓄積量にして20年の175億立方㍍から190億立方㍍までに拡大され、森林被覆率を20年の23%から25%前後までに拡大して、30年までに森林被覆率を20年の23%から25%前後までに拡大して、30年までに森林被

度が高められ、斜度が高い耕作地や生態系保全対策が急がれる農地などを林地や草地として整備する「退耕還林還草(耕作地を森と草原に戻す)」政策に打ち出した。日本の都道府県に当たる25の省の4100

12.8%を占める。政府は気候変動対策として、30年までに森林被覆率を20年の23%から25%前後までに拡大して、30年までに森林被

度が高められ、斜度が高い耕作地や生態系保全対策が急がれる農地などを林地や草地として整備する「退耕還林還草(耕作地を森と草原に戻す)」政策に打ち出した。日本の都道府県に当たる25の省の4100

12.8%を占める。政府は気候変動対策として、30年までに森林被